

みえの安心食材

なし

●取材先

見並俊博さま（度会郡玉城町）

垣野峰男さま（津市久居明神町）

●食材説明文（140文字）

雑草が生えたなし園は、管理されていないように見えるかもしれない。しかしこれは、有機栽培・減農薬に取り組んでいるからこそその姿。

農薬を減らした分手間が増えるが、それをいとわないのは、安心・安全にかける生産者の熱い心。

口の中でしゃりしゃり溶けゆくその甘さ、じっくりと堪能してほしい。

●現地風景コメント（約 30 文字）

1



広い園内には、何種類もの
なしの木が整理されている。

2



縦バージョン。

3



牛ふんや刈り取った雑草など、
有機肥料を積極的に活用。

4



横バージョン。

5

6



陽がよく当たる部分から熟しだす。
全体が完熟したタイミングで収穫する。

7



表面のつぶつぶが、やや目立たなくなってきたころが食べごろ。

8



全体が均一な褐色で、果皮に張りがあり、ずっしり重いなしほど美味しい。

9



袋がけには、防虫だけでなく、
表面のきめを細かくし、つやを出す効果も。

10



収穫は、まだ薄暗い
早朝からはじめる。

11



収穫した実を、エプロンで受ける。

12



低い樹間を縫って走るのに便利な、
背の低い運搬車。

13



種類や大きさで分け、傷つかないよう
ていねいにカゴに入れる。

14



大きさ、形、重さとも、
申し分なしの豊水。

15



木々の根に充分水がいきわたるよう、ホースで放水。

16



ベテラン生産者の目は、
袋の外からでもなしの熟度を見分ける。

17



1本1本の木の状態を見計らい、
それぞれ適切な時期に手入れする。

18



週一回ぐらいの割合で、雑草を刈る。
刈った草は堆肥として活用。

19



来期の収穫のメインは、
今年新しく伸びた枝がつける実だ。

20



上に伸びようとする枝を、葉が落ちる
晩秋以降、横に伸びるよう誘引する。

21



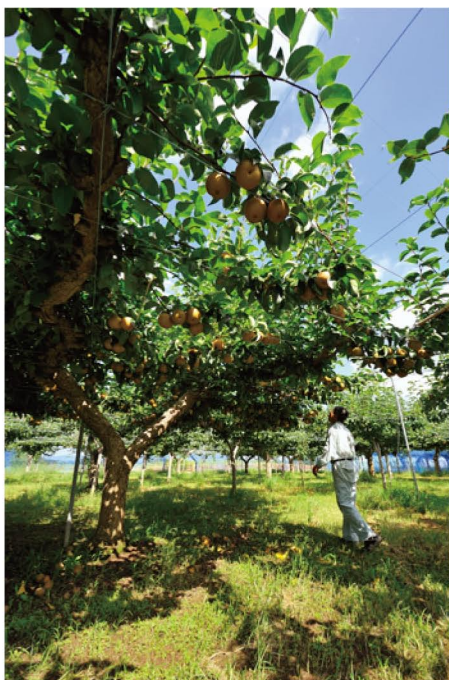
芽や葉を見ると、その枝がつける
実の良し悪しが想像がつくそうだ。

垣野さんの梨園

22



23



24



シーズンになると、800 個もの実をつける木もある。

25



26



横バージョン

27



枝の先端に実った、
きれいに色づいた大きななし。

28



横バージョン

●食材写真コメント（約 30 文字）

29



手間暇かけて減農薬で育てられた
安心できる三重のなし。

30



横バージョン

●調理盛付例コメント(約 30 文字)

31



切るそばから果汁がしたたり落ちる、
甘くジューシーな三重のなし。

32



横バージョン